

共通教養科目カリキュラムマップ(令和2年度入学生1年次科目)

ディプロマ・ポリシーに示す共通到達目標(学修成果)

観点		到達目標(学修成果)										
1. いのちの平等、尊厳性への気づき	あらゆる存在が個人の価値観を超えて絶対的な尊厳性をもって存在することを理解している。											
2. 生かされていることへの感謝	生かされていることへの感謝の心を持ち、他を生かす活動を実践することができる。											
3. 倫理観	人として守り行おうべき道について考え、それを実践することができる。											
4. 知識・技能	社会生活を営む上で必要な幅広い知識を持ち、職業人として必要な技能を身につけ活用することができる。											
5. 論理的で柔軟な思考と判断力	先入観や既成観念等に縛られず、論理的かつ柔軟に思考し判断することができる。											
6. 自己表現力	自分の意見や考えを状況に応じた手段で適切に表現することができる。											
7. 主体的な行動力	責任感・使命感をもって主体的に行動することができる。											
8. 他者との協働力	社会を構成する一人の人間として、異なる価値観や背景を理解した上で連携・協働することができる。											
カテゴリー	授業科目	授業概要	科目の到達目標	到達目標(学修成果)の観点番号								
				凡例 ◎ DP達成のために特に重要な目標 ○ DP達成のために重要な目標 (一つの到達目標に◎と○一つずつを原則)								
				1	2	3	4	5	6	7	8	
共通教養科目	人生と仏教Ⅰ	釈尊の生涯とその教えを学ぶことを通して、人間とは何か、人間としていかに生きるべきかという視点から人生を考える。	1. 釈尊の生涯とその教えを理解している。 2. 教育の理念である「やわらか心」を理解し、あらゆるいのちの平等・尊厳に深く思い至ることができる。 3. 「生かされて生きている」ことに感謝し、他を生かす活動の大切さを知っている。	◎					○			
	人生と仏教Ⅱ	親鸞聖人の生涯とその教えを学ぶことを通して、人間の真相により深く迫るとともに、聖人の生き方に照らし、自らの人生を考える。	1. 親鸞聖人の生涯とその教えを理解している。 2. 自分の価値観が普遍的ではないことを知り、あらゆる存在がそれぞれ絶対的な尊厳性をもって生きていることに気づいている。 3. 「生かされて生きている」者として、他を生かす活動を主体的に実践している。	◎				◎			○	
	暮らしと政治	将来、社会人として活動するために、知っておくべき基礎知識が身につくように授業プリントや時事問題に関する資料を用いて学習する。高等学校の公的的分野と歴史的的分野の学習内容を踏まえて学習する。基本用語が身につくよう学習する。	1. 民主政治と三権分立について理解する。 2. 地方自治の役割と地方分権の動きを理解する。 3. 身近な暮らしのなかで政治や法がどのように関わっているかを理解する。	◎			○					
	暮らしと数学	小学校の算数および中学校の数学の学び直しを主な課題とした授業です。「割合」「比」「長さ」「濃度」「面積」「体積」など、数学的なことからの基礎的な部分を解説します。学生の皆さんには課題を解決してもらい、一回ごとの授業で確実に数学力アップをねらいます。こうして身に着けた基礎的な数学力を、暮らしの中で生かし、役立たせることで、精神的な豊かさを獲得することができます。「地方公務員試験」対策にもなるでしょう。	1. 一つ一つの事象の中に数学的な関係を見つけ、それを「数式」という形式で表現することができる。 2. 値のわかっていないものを含んだ簡単な等式(方程式)を解くことができ、その値を求めたり、未知の数を求めたりすることができる。 3. 物体の形や大きさに注意を払い、他の物体との共通性や違いに気づくことができる。	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	
	情報基礎演習(子ども学科)	パソコン(OS)の基本操作やインターネットの活用、MS-Officeソフトウェアの活用方法(お便り、園だより、プレゼンテーション作成)の演習を中心に行う。また、配布されたノートPCも有効に活用できるパソコンスキルを身につけていく。	1. 日常的にコンピューターを自由自在に操作し、さまざまな活動の中で活用することができる。 2. イラスト・写真画像の加工やファイルの制作、応用、管理ができる。 3. 他社と協働し、よりよい教材作成をすることができる。			○	◎				○	◎
	情報基礎演習(オフィスワークコース)	本学のネット環境や配布されたノートPCを学習に活用できるよう、基本ソフトWindows10の基本的な扱い方の基礎を学びます。ノートPCの使い方は、質疑応答をしながら皆さんが遭遇するPC利用の課題を解決していきます。プレゼン作品やポスター作品、教材作品などの制作を通して、画像、音声などの各種メディアの取り扱い方の基礎能力と表現力をつけ、PCを創造的に活用する姿勢を身につけます。	1. 基本ソフトWindows10の役割を知り、環境設定やデータの管理ができ、PCを有効に活用できる。 2. PCで扱う様々なメディアファイルを扱うことができる。 3. テーマに則したプレゼン資料やポスターなどの作品を創造的に制作するとともに、自分の作品を様々な形で表現・発表できる。				◎			○		
	情報基礎演習(介護福祉コース)	配布パソコンを使い、文書作成やプレゼンテーション資料と発表までの演習を中心に行う。異文化交流の中で助け合いながら協働作業を行うことにより、多様化する介護福祉現場で働くことへの強い意識付けを目指す。	1. パソコンの基本操作が身につけており、まよることなく活用できる。 2. インターネットを活用し、介護福祉に有用な情報を収集できる。 3. 他社と協働し、課題解決に向けて作業に取り組むことができる。			◎	○				○	◎
	英語コミュニケーション(子ども学科)	保育現場の様々な場面で必要な英語の語彙や表現を学び、それを基にコミュニケーション活動を行います。	1. 保育に関連する英語の語彙や表現を習得する。 2. 保育に関連する英語の語彙や表現を用いて、保育現場の様々な場面で、コミュニケーションができる。 3. 楽しみながら積極的に英語を使用する態度を身に付ける。				◎			○		○
	英語コミュニケーション(キャリア育成学科)	この授業では、日常生活の様々な場面で必要な英語を学びます。1つのテーマの学習は、2回の授業(基礎と応用)で完結します。1回目は、そのテーマについてのコミュニケーションに必要な基本的な語彙・表現・文法を習得します。また、そのテーマについてのリスニングを行います。2回目は、1回目で習得した語彙・表現・文法を用いて、ペアワークを通して話す活動を行った後、読む活動と書く活動を行い、学習事項の定着を図ります。	1. 日常生活におけるコミュニケーションに必要な英語の基本的な語彙・表現・文法を習得する。 2. 習得した語彙・表現・文法を用いて、日常生活におけるコミュニケーションが英語でできる。 3. 楽しみながら、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。				◎			○		○
	スポーツと健康(実技)	運動・スポーツの実技を通して、自身のスポーツへの関わりや、健康増進につなげていくための授業。本授業では各回の実技内容、状況に合わせてサークルを設定し進めていく。状況に合わせて運動・スポーツを楽しむ方法を学ぶ。	1. 実技に参加し、各競技の特徴を理解している。 2. 各回にあった内容を提案し、実施することができる。 3. 自身の健康増進について考えをまとめ、レポートを作成することができる。			○	◎				◎	○
	日本語表現	日常生活や学習活動で求められる日本語表現能力を伸ばすため、文の構成やつなぎ方等、論理的な文章を書くための基礎的事項について概説し、実際に文章を書く練習を繰り返す。次に、論理的な文章を書く際に必要な表現について学んだうえで、実際にレポート作成に取り組む。また、表現を豊かにするために必要な、言葉に関する知識について学習する。第14・15回授業では、グループワークで、敬語を使った劇のシナリオを作成し、クラスの前で上演する。	1. 書き言葉の基礎を身につけ、文章作成のポイントを理解する。 2. 与えられたテーマに基づき、情報を収集し、論理的な文章が書けるようになる。 3. 敬語の基本を理解したうえで、実際の場面で適切な敬語使用ができるようになる。				◎		○			○
	日本語表現(留学生クラス)	日本語の初級から中級を復習し、繰り返し練習することで正確な表現の定着を図る。日本語学習の様々な項目を理解し、自信の得意・不得意を把握した上で学習計画を立てる。	1. 初級から中級の学習項目を、正確に使うことができる。 2. 日本語能力試験N4/3相当の漢字の読み書きが正確にできる。 3. 自身の能力について把握し、今後の学習計画を立てる。				○		◎		◎	○
スタートアップゼミナール(子ども学科)	初年次教育として大学生に必要な知識・態度の習得に向けて、少人数授業の特徴を活かしながら、「対教員」、「対学生」のコミュニケーションを重視し	1. 大学で学ぶための基本的な姿勢を身につけ、課題を持って意欲的に学ぶことができる。 2. 課題の解決に向け、「聴く」「考える」「伝える」等の基本的な力が身につく。				○			◎		○	

	た授業を展開する。	3. 社会的なルールやマナー、倫理、規範などを理解して、しっかりと行動できる。			◎		○			◎
スタートアップゼミナール (キャリア育成学科)	まず、短大で学ぶためのスキル(ノートの取り方、情報収集の方法など)やマナーについて学ぶ。次に、様々なテーマのもとに、ゼミ内での発表やディスカッションを繰り返すことで、自分の意見をまとめ伝えるスキル、相手の意見を聴くスキルを身につける。あわせて、短大生としてふさわしい行動ができるように、社会で求められるルールやマナーについて考える。	1. 大学で学ぶための基本的な姿勢を身につけ、課題を持って意欲的に学ぶことができる					○		◎	
		2. 課題の解決に向け、「聴く」「考える」「伝える」等の基本的な力が身につく				○	◎			
		3. 社会的なルールやマナー、倫理、規範などを理解して、しっかりと行動できる			◎					○